

意見	回答
1 子ども向けの食農イベントを希望。	こうした要望はかねてより大きいので、JAでは生産者の協力を得て令和3年度より「組合員家族企画『大徳金時』収穫体験」を実施しています。加えて令和8年度は新たに「バケツ稲づくり体験」を企画、5月には多くの子どもたちが田植えを楽しみました。今後も子どもたちに農業の魅力を伝えられるイベントを継続・検討していきます。また当JA主催ではありませんが、「金沢春菊」「二塚からしな」の生産者部会では園児や児童向け独自の食育授業を行っています。他にも地域住民の協力の下、管内4小学校が「いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト」に取り組んでおり、5年生が田植えや稲刈りを行っています。これにはJAも協力しており、今後も継続予定です。
2 税務・相続セミナーをやってほしい。	当JAに普通貯金口座のある方を対象とした登録制学習会「グリーンカレッジ」では、R8.9に税理士を講師に招き「超超初心者大歓迎！ おもしろ相続セミナー」を開催予定です。この機会にぜひご加入ください。
3 レクリエーション、旅行、講演会などお楽しみ企画を希望する。	現在多くの方が参加できるイベントとして、組合員ゴルフコンペ、年金友の会各種企画(ゴルフ大会、グラウンドゴルフ大会、健康ウォーキング、支店主催企画)等を実施しています。支店企画は友の会役員等が内容及び開催時期を検討しているため、支店によって多少ばらつきがあります。このほか令和7年度よりスタートした登録制学習会「グリーンカレッジ」では、講演や料理、野菜のプランター栽培など様々なジャンルの学習会を実施しています。今後の立案には皆さまの声を更に参考にさせていただきます。なお一部の方が「宿泊旅行」を希望されていることは存じております。しかしながら近年は宿泊旅行を企画しても参加者の確保が難しく、日帰りの方が人気が高いのが実情です。
4 イベント・企画の情報を事前に知りたい。	奇数月発行の組合員向け広報紙「ふれあい通信」では、R8.5より「イベントカレンダー」の掲載をスタートしました。直前にならないと決まらない企画もありますが、事前にお伝えできるものではできるだけ掲載したいと思います。またInstagramでも最新情報などを発信していますので、ぜひチェックしてください。
5 戸板支店であった「能登応援販売会」を全く知らず、行けなかったのがとても残念だった。	「能登応援プロジェクト」の一環で大徳・戸板・三馬3支店で開催した、令和6年4月「JAのと山菜産直市」を指しているのではないかと思います。緊急企画で開催数日前に店舗でのポスター掲示およびInstagramでのご案内に留まったため、知らなかったという声も多くいただき大変申し訳なく思います。当JA Instagramでは最新の情報を発信しているので、お見落としのないようこの機会にぜひフォローしていただけると幸いです。
6 耕作放棄地が増え農地が減少している現状に憂慮している。こうした農地をJAが借りて主体的に農業を営むことはできないのか。県外ではこうした事例があると聞いている。	貴重なご意見ありがとうございます。まず大前提としてJAが農業を直接行うために農地を借りることはできません。ご提案いただいた他県の事例も、実はJAそのものが主体となっていません。農業振興地域で、JA出資型法人やJAとは別会社組織が大規模に農業に従事しているケースです。当JA管内は市街化区域が多いので、残念ですがこうした取り組みは困難です。しかしながら農地の保全は地域農業の根幹であり、JAとしても深刻な課題と認識しております。ご相談いただければ、ご意向に沿った最善の方法と一緒に検討させていただきたいと思います。
7 田んぼを知り合いに貸しているが、高齢のためいつまで引き受けてくれるか不安。固定資産税など維持費ばかりがかさむので、誰かに譲渡したい。	農地として残すことをお考えであれば、農業委員会に相談し「農地バンク」に登録し、借り手を探すという案がありますが、市街化調整区域であれば売買は難しいかと思います。土地の有効活用をお考えであれば当JAの不動産部門(㈱アクティブ中央サービス)でご相談を承りますので、ご意向に沿った方法を一緒に検討させていただきたいと思います。
8 減反政策について、JA金沢中央では生産抑制をしているのか。	減反政策については、国・県・市が示す作付け可能な面積に照らし合わせ、当JA管内の目標減反面積は0(ゼロ)です。従って当JAでは生産抑制をしていません。組合員が生産した米はJAに出荷していただければすべて買い取りしています。
9 スケールメリットを見据え、農業の大規模経営に向けた支援をしてほしい。	大型機械購入や規模拡大のために農地を購入したい・借りたいなどご相談があれば、内容に応じ関係機関と連携し課題解決を図ります。ただ当JA管内は圃場が小さく農道が狭いため「規模を拡大して効率よく生産する」ことがそもそも難しい場所が多いです。基盤整備等には土地所有者の意向を踏まえる必要があり、各町の生産組合との話し合いが必要になってくると思います。
10 市民農園に興味がある。JAが主体となり借りたい人と貸したい人をマッチングし、休耕田等を希望者に貸農園として斡旋してもらえないか。	申し訳ありませんが当JAでは市街化調整区域にある農地の貸借の斡旋・マッチングは行っていません。金沢市のHPで「市民農園」入園希望者を募集しています。金沢市農業水産振興課(076-220-2213)までお問い合わせください。

意見	回答
11 担い手の高齢化や後継者不足に対し、JAとしてどのような対策をしているか。	農業に関わらず高齢化による後継者(担い手)不足が全国的に問題となっております。生産資材が軒並み高騰し、堅調な農業経営の持続はどんどん難しくなっています。当JAでは生産者のライフスタイルの変化に対応し、「農地の維持」という観点から、市街化調整区域・農業振興地域問わず水稲作の農作業受託事業を実施しています。水管理や農道・畔の除草など基本作業は地主(耕作者)に担っていただきますが、耕起・代かき・田植え・稲刈り等機械作業をJAで行います。また相談に応じて休耕田の保全管理として除草管理・草刈り作業等を受託しています。詳しくは営農支援課(076-266-5003)までお問い合わせください。
12 不耕作田の除草剤散布を年3回依頼しているが、撒き方が全体的に雑でムラがあり過ぎかなと思う。結局、草が枯れてない箇所含めて後で自分で草刈機で処理する事もある。	いつもご利用頂き誠にありがとうございます。今回は大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。除草剤散布は基本的に4月上旬、6月中旬、7月下旬の年3回実施しています。同じ1筆の圃場であっても場所によって状態は千差万別で、例えば排水が悪く常に水が溜まっている箇所では雑草が伸びやすく、また雑草の種類によっては除草剤の成分を変えないと効果が薄くなる場合があります。当JAではこうした状況を確認しながら丁寧な作業を心がけていますが、ご満足いただけなかったようで誠に申し訳ありませんでした。今後も散布ムラなどに注意しつつ、作業に取り組んでまいります。
13 当JA組合員の農産物を優先して販売してほしい。また生産者から直接農産物を購入できるシステムを増やしてほしい。	このご質問は当JAの生産者の農産物を優先的に消費者に提供してほしいという意味合いかと思います。まず米については当JAでは管内産米を全量買い取り、玄米もしくは精米製品として皆さまに提供しています。ただ管内産米だけでは必要量を賄えないため、不足分は県内他JA等から購入しています。青果物については、当JAで生産量の多いすいか・大根・さつまいも(大徳金時)は県外市場がメイン出荷先のため、流通は主に県外となります。その他農産物の主な出荷先は県内市場ではありますが(梨などのように農家が直販するケースもあり)、市場に出れば流通先は県内だけとは限りません。当JAでは地産地消の取り組みのひとつとして、特産のさつまいも「大徳金時」については外務デーでのチラシ配布や支店にて注文を受付しています。また各支店で開催する夏・秋のふれあい朝市では、地元生産者が直接持ち込んだ新鮮な地元の農産物を販売しています。フェスタなどの直売イベントでは、多くの方にお買い求めいただけるよう他JAや県外産の農産物を扱う場合もあります。
14 農産物加工品をもっと充実してほしい。	現在は「正月用もち・かきもち」「金澤犀華(大徳金時の焼酎)」「二塚からしなドレッシング」「金沢おとめパックごはん」などありますが、今後も開発が必要だと考えています。
15 農産物は「規格外」を全量買取を行い、その地域の方向けに提供すれば、生産者にも消費者にもよいのではないかと思います。	「規格外品を安く売ればいいのでは?」というご意見をいただくことがあります。しかし生産者の収穫にかかる労力、流通やパッケージングのコストは、形が不揃いでも変わりません。安易に安値販売すると農家の手取りが減り、生産意欲の低下を招きます。また規格外品が市場に混在すると価格だけでなく品質もばらつき、「買うたびに味や鮮度が違う」という不安を煽ります。安定した規格があるからこそ、消費者は常に安心して同じ品質の野菜を入手できます。JAには長期的な視野で農家と消費者の食卓両方を支える役割があると考えます。
16 農機レンタル機種を充実してほしい。	昨年度はレンタル機種のラインナップにトラクターを1台導入しました。今後も人気機種の増強に努めていきたいと思います。しかしレンタル農機は農家が使いたい時期が重なり、同時期に利用が集中する点をご留意ください。但し除雪機レンタルは現時点では考えていません。
17 農機が高い。レンタル料金も高い。もう少し安くならないか。	農機購入時には「組合員予約価格」という割引制度をご案内しています。レンタルも組合員向けにできるだけ低価格で対応しております。
18 近年お米の値段が高いので、安くなると嬉しい。また安定供給を希望する。	昨年から今年にかけ、米価の高騰で皆さまには大変なご心配とご迷惑をおかけしました。JAには生産者・消費者双方の目線が必要です。最近ではあらゆる生産資材や燃料代の高騰が続く、米の生産コストが軒並み上昇しています。農家および日本の主食を守るため、JAに出荷していただいた農家にはそれに見合った買取価格をお示しするのがJAの使命だと思っています。消費者の皆さまも、こうした背景に心を寄せていただけると幸いです。なお当JAには自前の精米センターがあるので、他所に作業を依頼するより精米製品の価格は抑えられています。
19 しばらく前から急激に化学肥料や農薬の価格が高騰し、農家の経営基盤を圧迫している。共同購入のメリットを最大限活用し、価格低減に努めてほしい。	近年の物価上昇により価格が高騰しております。全農が常に価格の安定化に尽力していますが、肥料・農薬の原材料の多くを海外に依存しているため、中東情勢の悪化等で今後も更に価格が上がる恐れがあります。当JAでは共同購入や事前の予約価格を活用し、組合員の皆さまにできるだけ低価格にてご購入いただけるよう努めています。今後も価格低減に最大限に尽力いたします。

意見	回答
20 営農だより・営農ごよみがマンネリ化している。近年の気候変動に対する指導が不十分。	営農だよりは基本同じようなつくりになっていますが、管理方法や高温対策など掲載内容は毎年見直しされています。高温対策については、栽培講習会や穂肥現地研修での指導など、営農指導員が工夫を凝らし農家に伝える努力をしています。最新の情報はインスタグラムを通じて配信しておりますが、直接のご相談は営農経済部職員にお声掛けください。
21 役所への補助金申請を協力してほしい。	JAとして協力させていただきます。しかしJAが間に入っても、残念ながら申請が通らない場合もございます。
22 貯金金利を上げてほしい。貯金キャンペーンもっとやってほしい。	当JAでは他行の動向を鑑み、貯金金利の見直しを随時行っています。また期間限定キャンペーンの他に、オリジナル定期貯金を年間通して取り扱い中です。ぜひお問い合わせください。
23 「年金友の会」の旅行に、会員でなくても参加できるとありがたい。	申し訳ありません。旅行、ウォーキング、ゴルフなど「年金友の会」を冠したイベントへの参加は、当JAで年金を受給されている方の特典となっています。参加を希望される場合は、年金受取口座の当JAへの変更をご検討ください。
24 JAバンクは経営が厳しい、つぶれるとの噂で不安を感じている。農林中央金庫の損失が私たちJA組合員にまで悪影響を及ぼさないか、大変危惧している。的確な情報発信をお願いしたい。	ご心配おかけし申し訳ありません。JAバンクでは組合員・利用者に一層の安心をお届けするため、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」による「JAバンクセーフティネット」を構築しています。また農林中金は2025年度は黒字決算となり、自己資本比率も健全な水準を維持しています。
25 地震で建物が罹災したが、時間が経ちすぎで時すでに遅しだった。一声かけてほしかった。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。令和6年能登半島地震の罹災請求は現在も受け付けています。修繕見積りをご用意の上、お近くの共済窓口までお問い合わせください。
26 自動車事故対応の際の共済担当者のマナー教育を希望する。	事故対応については様々な意見がございます。当JA職員のマナー向上はもちろん、上部組織のJA共済連の事故担当者にも要望していきます。
27 職員の異動が多すぎる。顧客対応にも人によりかなり差がある。分野が多いせいか、スペシャリストがいないように感じる。また異動になっても挨拶にも来ないので、現在の担当者が誰かわからない。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。行政指導とコンプライアンスの観点から職員の同一業務・同一場所での勤務期間は限定的で、異動はどうしても必要となっています。異動がある以上、全職員が一定のレベル以上であることが求められますので、資格取得等を含め職員のスキルアップに更に努めてまいります。また業務引継ぎの際は顧客視点を徹底します。
28 窓口対応がゆつくり過ぎる。もっとテキパキしてほしい。また職員の数も多すぎるように思う。たまに聞こえる事務所内の笑い声も気になる。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。職員にはスキルアップと共に失礼のない顧客対応を徹底していきます。またご指摘の職員数については、業務量を考えると決して多すぎではありません。働き方改革を踏まえ職員に十分な休暇を与えるためにも、人員の確保は必要だと考えます。
29 女性職員に活躍の場を広げるべき。将来的には女性支店長の誕生に期待する。	当JAでは職員は男女問わず、適性次第で管理職に登用しています。現在、支店には支店長代理2名、渉外4名の女性職員が活躍中です。
30 JA合併について知りたい。広報紙に状況を載せてほしい。	県下JAの合併の最新状況については、議案説明会や総代会の際に組合長が説明しております。広報紙への掲載は今後検討いたします。
31 毎月の外務デーは必要なのか。広報紙についても紙の無駄のように思う。	外務デーは各事業のお知らせや最新情報等を組合員に直接お伝えする重要な業務と考えています。組合員は紙媒体に馴染みのある方が多いため、広報紙、伝票等を含め書類でお渡しをしています。また年6回奇数月に発行している広報誌「ふれあい通信」については、バックナンバーをHP上に掲載しています。
32 何曜日かは分からないが、駐車場がいつぱいで止められない時がある(鞍月支店)。	鞍月在住者限定「はつらつ塾」開催時に、鞍月支店駐車場が混雑する場合があります。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。乗り合わせの提案をしていきます。
33 准組合員にもう少し権利を与えてほしい。	准組合員は「総代になれない」以外にはほぼ正組合員と同じ権利を有しています。また協同組合理念に則り、出資口数の多寡で対応に差異はございません。すべての組合員に対し公平・平等に対応いたします。
34 QRコード式のアンケートは高齢の方はかなり抵抗があると思う。	QRコード式のアンケートは、紙媒体と異なり結果の集計が素早くしかも間違いなくでき、とりまとめにかかる事務負担が大きく軽減できます。しかしながら紙媒体になじみのある高齢の方には抵抗があると思いますので、今後あり方を検討します。
35 技術開発、業務開発などが他分野の企業と比べてとても遅れているように思う。古い体質からの脱却を願う。	信用・共済事業は上部組織と連携し、ペーパーレス化をはじめ顧客・JA双方にメリットのある業務改善を進めています。また当JAでは今年度よりDX化を積極的に進めています。しばらくは役職員向けを中心とし、働きやすい職場環境を目指し様々な技術導入を検討していきます。

意見	回答
36 自己改革には、前年比伸び率や利用実態の調査など、健全な経営に向けた取り組みが必要だと思う。また自己改革実現に向けJAは何を行うのか、具体的に教えてほしい。	損益や事業量に関する前年度との比較はディスクロージャー誌等でお示ししています。またJA経営基盤確保のため、令和4年度から「自己改革実践サイクル」を策定し毎年見直しをかけています。重点取組項目と具体的実践事項を掲げ、年次別工程毎に目標値と進捗状況を総代会資料で開示しています。毎年計画を上回る剰余金を得られるよう、今後も健全な経営に努めてまいります。
37 時間外労働に対し残業代が支払われてないと聞いた。守るべきことをきちんと守れるようになってから、自己改革をすべきではないか。	時間外労働に関しては、残業前に職員が所定の方法で上司に申告し許可を得、上司の指示のもと行う「残業申請制」という方法でこれまでも対応しています。出勤簿等を適正に把握し、今後も引き続き規程に沿って対応していきます。